

解説：

頭部 CT 検査では両側前頭葉に出血性脳梗塞を認める。頭部 MR venography では上矢状静脈洞内に flow void の消失を認め、同部の血栓が疑われる。脳静脈洞血栓症では脳静脈洞の閉塞にともない、脳浮腫や静脈性梗塞が誘導される。基礎疾患を有する若年から中年期の人に発症することが多く、妊娠・産褥、経口避妊薬の服用、アンチトロンビン III 欠乏症や protein CS 欠乏症、抗リン脂質抗体症候群、感染症、頭部外傷、膠原病、悪性腫瘍、血液疾患などが原因となる。潰瘍性大腸炎や Crohn 病などの炎症性腸疾患に合併することも知られている。画像は <https://utsunomiya-noushinkeigeka.com/target/case013.php> より拝借した。

正解 d

---